

コミュニケーション活動

社外からいただいた評価

これまでに社外からいただいた主な評価は以下の通りです。



| 評価名 | 調査主体 | 富士フィルムの評価 |
|---------------|------------|---------------------------|
| 第6回 環境経営度調査 | 日本経済新聞社 | 10位/703社中(製造業編) |
| 第4回 環境ブランド調査 | 日経BP社 | 19位/560社中(消費者、ビジネスパーソンとも) |
| 平成14年度環境経営格付け | 環境経営格付け機構 | 96点 |
| 環境格付け | トーマツ審査評価機構 | A |

また、社会的責任投資(SRI: Socially Responsible Investment)の評価においても、以下のような銘柄に組み入れられました。

- ・日興エコファンド
- ・損保ジャパン・グリーン・オープン(愛称:ぶなの森)
- ・Dow Jones Sustainability Index (DJSI)
- ・FTSE4Good Global Index

「エコプロダクツ2002」への参加

2002年12月、東京ビッグサイトで、370の企業・団体が参加し「エコプロダクツ2002」が開催され、富士フィルムでもブース出展を行いました。この催しはエコプロダクツ(=地球環境に与える影響を少なくした製品・サービス)の紹介を通じて環境NGO、NPO、行政をはじめ、一般消費者の方々とともに環境問題についてコミュニケーションする場を提供するものです。当社ブースでは、小中学生に「写ルンです」のリユース・リサイクルについてわかりやすく解説するコーナーを設置しました。また、「FinePix」プリンピックス」による撮影・プリントのサービスなども好評でした。



環境に関する法令等遵守の状況 (2002年度)

- ・過去5年以内に法令等の違反及び事故はありませんでした。
- ・環境関連の訴訟はありませんでした。

エコステージ制度の支援

環境経営の強化を幅広く後押しする「エコステージ制度」の普及促進のため、企業、大学、東京都などの産学官が推進する「エコステージ研究会」を支援しています。「エコステージ制度」は、環境管理ノウハウがなく、ISO14001の取得が困難な企業のほか、すでに取得済みで環境管理システムをさらに高度化したい企業ニーズにも応えることができ、個々の企業の現状に応じてどの段階からでも入れること、割安な費用でISO14001並みの環境マネジメントシステムを構築・運用できること等が特長です。同制度では、NPOや学識経験者等で構成する第三者評価委員会が、環境マネジメントシステムの構築状況と活用状況等、企業の取り組みを5段階で評価する仕組みで、いったん認証を受けた後も、環境監査の専門家が年一回、定期評価に訪れ、段階的な改善を促します。富士フィルムは、同制度の牽引役をめざすとともに、グループ各社のISO14001取得後の更なる高度化および調達先のグリーン調達基準として組み込んでいきます。

エコステージの各段階の環境経営水準

| | |
|---------|---------------------|
| エコステージ5 | 原価改善と情報開示レベル |
| エコステージ4 | パフォーマンス改善レベル |
| エコステージ3 | システム改善レベル |
| エコステージ2 | ISO14001と同等レベル |
| エコステージ1 | ISO14001の重要なエッセンスのみ |

クレームへの対応

2002年度は以下の5件のクレームを頂きました。

騒音クレーム...送水ポンプの修理後の手順不備からのうなり音、新築棟建設に伴う基礎工事での重機音などによるもので、手順見直し策や再発防止策を住民の方々にご説明し、ご理解を得ております。

その他、電波障害や駐車場のゴミに対するクレームが各1件あり、いずれも直ちに対策を講じ、住民の皆様にご了承いただきました。今後は再発防止のための事前管理を徹底してまいります。

| 事業所 | 内容 | 件数 |
|------------|------|----|
| 足柄工場 | 騒音 | 2 |
| 小田原工場 | 美観 | 1 |
| 富士宮工場 | 騒音 | 1 |
| 朝霞技術開発センター | 電波障害 | 1 |